

地域支援だより「こやまが丘通信」は、本校の就学エリア（福山市、尾道市、府中市、三原市、竹原市、神石高原町、世羅町、大崎上島町の保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の先生方に配付しています。

広島県立福山特別支援学校 地域支援だより

こやまが丘通信

令和3年 3月発行
第6号



今年度も、センター的機能をご活用いただき、ありがとうございました。今号は、地域の先生方や保護者の方から相談が多かった内容（進路や自立活動）や、センター的機能を活用された先生方の声などを紹介します。

高等部3年生の進路について

卒業後も、よりよく生きていくために、それぞれのペースで学習を積み重ねてきました。高等部からパソコンの操作を頑張り、企業へ就職が決まった生徒や、人と関わる力を身に付け、自分に合った生活介護事業所を利用することが決まった生徒たちは、それぞれの道へ羽ばたいていきます。

詳細は、進路指導だより第2号 本校ホームページにて（近日公開します）



自立活動の指導～成長の軌跡

小学部A君の事例 自立活動を主とする教育課程（Ⅲ類型）



担任にインタビュー！ 成長した理由は？

A君の意欲や興味（色々な所に行きたい、人が好き）が、大きかったと感じています。学校では、自立活動の時間だけでなく、様々な場面で、歩行や階段の昇降など、身体を動かす機会を盛り込んで、学習を展開しました。また、家庭やデイサービスなどの関係機関の協力もあってこそその成長だったと思っています。（担任/岡本）

今年度のセンター的機能について

今年度は、夏季セミナーで地域の先生方と直接お会いする機会がありませんでしたが、次年度は、オンライン等で、繋がる場を作っていきたいと考えています。（支援部）

【自立活動の指導】

自立活動6区分27項目による実態把握から、将来の姿（一人で歩く）を想定しながら、今指導すべき課題を検討していきました。

A君の指導の場合は、身体の動き（体幹）、環境の把握（見る力、集中力）などの課題を関連付けて、指導目標を設定し、指導内容を工夫して指導を行いました。



巡回相談・研修等で、地域の子供たちや先生方と一緒に、指導支援を考えさせていただき、ありがとうございました。今後も、先生方や子供たちの伴走者として、お付き合いできたら幸いです。新年度に向けての相談も、お気軽にご相談下さい。（教育相談主任 西谷）

お知らせ

入学式 4月7日（水）

令和3年度より、本校の全学部Ⅲ類型（自立活動を主とする教育課程）で、国語・算数（数学）の教科単独の時間を新たに設定します。

（詳細は、自立活動だより第4号をご覧ください。）

自立活動だより第4号 <http://www.fukuyama-sh.hiroshima-c.ed.jp/kyouken/R2jiritutayori4.pdf>

今年度センター的機能を活用された方の声

巡回相談のアンケートより



巡回相談では、乳・幼児、児童生徒の指導支援、姿勢・運動、摂食、自立活動など、教育課程など幅広く相談がありました。

肢体不自由のある幼児の姿をみながら、専門的な視点から具体的かつ的確なアドバイスをいただくことができ、大変参考になりました。また、就学を見通した支援の在り方、小学校との連携など、園児が小学校生活を安心してスタートできる基盤づくりを進めることに繋がりました。(幼稚園 教諭)



【子供のわずかな表出や動きを、見逃さないために】
巡回相談では、児童生徒の様子や先生方からの聞き取りの他、客観的な実態把握ツールを活用することもあります。本校のアセスメントチェックリスト、視線入力装置、OAKCam(身体の動きを可視化する機器)を使って、「表出」をきめ細やかに把握し、指導支援の提案をしました。



視線入力装置



OAKCam

体幹が弱く、うまく発声ができない幼児に関して相談し、体幹トレーニングや口の動きなど、ゲーム感覚で日頃から取り入れやすい内容を提案いただきました。今では、自分の思いを言葉で表現することにとても楽しさを覚え、保育教諭や友達と嬉しそうにやりとりができるようになりました。(幼稚園 教諭)

新年度の教育課程等、具体的にご指導いただき、ありがたかったです。実態に合わせた教育課程を考えることができました。(小学校 特別支援教育コーディネーター)



国語と算数に関して具体的にアドバイスをいただき、すぐに実践へ繋げることができました。また、教材や支援機器を紹介していただいたので取り入れたいと思います。今年度、最大の目標のトイレの自立・サインが100%達成し、オムツから卒業することができました。保護者の方も大変喜ばれています。(小学校 肢体不自由学級担任)



歩行の基礎知識から、立つ、バランスを取って歩くことの具体的な方法について、身体の動きや筋力との関係をもとに教えていただき、大変わかりやすかったです。これからの実践にとっても参考になりました。(中学校 特別支援学級担任)

本校で紹介されました



地域に貸出した支援機器・姿勢支援具など

VOCA (スイッチ)



三角マット



クッションチェア



PCウォーカー



研修のアンケートより



自立活動の大切さを実感しました。児童の実態を適切に把握すること、実態をもとに「身に付けさせたい力」を明確にして、授業を構成することが改めて大切だと感じました。児童の一年後、将来を見据えて計画的に取り組んでいきたいです。(夏季研修会 福山市の小学校)



今回の研修に関わらず、2年間に渡り、巡回相談で児童の成長をみていただき感謝しています。研修では、2年間の指導の様子を映像で示しながら説明していただき、児童の成長を実感できました。(校内授業研究会 府中市の小学校)



障害というものの捉え方、長期的なビジョンをもって考える視点がとても勉強になりました。障害のあるなしに関わらず、目の前にいる子供に対して、どんな力を付けたいかを保護者と共に考え、1年間の目標や卒業の姿のイメージを持つことが大切だと分かりました。(特別支援教育校内研修会 福山市の小学校)

お問い合わせ TEL 084-951-1513 FAX 084-951-3864 (受付：平日 9:00~17:00)

Email fukuyama-sh@hiroshima-c.ed.jp <http://www.fukuyama-sh.hiroshima-c.ed.jp/>

〒720-0841 広島県福山市津之郷町津之郷 280-3

《担当》教育相談主任(特別支援教育コーディネーター)：西谷 愛子 支援部長：森 智明

